



平成27年ハブクラゲ発生注意報発令！

本県の海は、猛毒を持つハブクラゲが生息し、一年のうち6月はじめ頃から人体に影響を及ぼす大きさに急激に成長します。この時期は、海水浴、マリンレジャー等で海への出入りが多く、刺症被害も多く発生します。

昨年は、ハブクラゲ等海洋危険生物による刺咬症被害277件の内、ハブクラゲによる被害は128件と過去5年間でもっとも多くありました。

マリンレジャー提供業者の皆様におかれましては、十分に注意し対策を行っていただきますようお願い致します。

ハブクラゲ刺症を未然に防ぐには

- ① 海水浴をする場合は、ハブクラゲ防止ネットの内側で泳ぎましょう。
- ② 遊泳中には、できるだけ肌の露出を避けましょう。
- ③ 海に出かける時は、酢（食酢）を持参しましょう。

ハブクラゲに刺された場合は次のように落ち着いて対処しましょう。

- ① まず海から上がり、激しい動きをしないで近くの人に助けを求めましょう。
- ② 刺された部分はこすらずに、酢（食酢）をたっぷりかけて触手を取り除きます。
- ③ 氷や冷水で冷やしましょう。
- ④ 医療機関で治療を受けましょう。

水難事故発生状況（平成27年6月16日現在）

カッコ内は子供（中学生以下）

	平成27年度			平成26年度			増減		
	発生	死者数	行方不明	発生	死者数	行方不明	発生	死者数	行方不明
県民	9 (1)	5	0	9	5	0	0	0	0
観光客	6	4	0	5 (1)	0	0	1 (-1)	4	0
米軍	0	0	0	1	0	0	-1	0	0
総数	15 (1)	9	0	15 (2)	5	1	0 (-1)	4	0

◎昨年度と比べ観光客の水難事故発生件数が増加しています。

マリンレジャー提供業者の皆様におかれましては、安全管理に努めるようお願い申し上げます。